

2号機 PCV内常設監視計器の設置 及び滞留水採取について (結果)

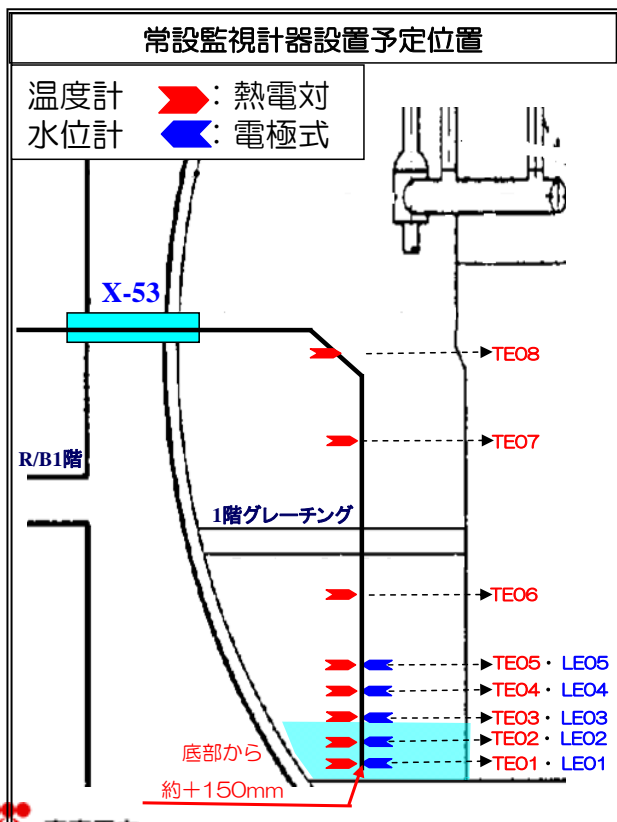
平成25年8月29日

東京電力株式会社



1. PCV内 常設監視計器設置の概要

X-53から監視計を挿入し、D/W内1階グレーチングを通して監視計を設置する。



**常設監視計器
詳細図**

監視対象		設置予定 位置	設置根拠
温度	水位		
TE08	-	OP.11,910	霧田気温度の計測 (D/W HVH供給 側と同レベル)
TE07	-	OP.10,750	霧田気温度の計測 (D/W HVH戻り 側と同レベル)
TE06	-	OP.8,100	-
TE05	LE05	OP.6,430	H24.3.26実施の2nd エントリー時の水位 約600mmを基準に 200mmピッチで設 置
TE04	LE04	OP.6,230	
TE03	LE03	OP.6,030	
TE02	LE02	OP.5,830	
TE01	LE01	OP.5,630	

温度計×3個

複合センサー×5個
(温度計・水位計)

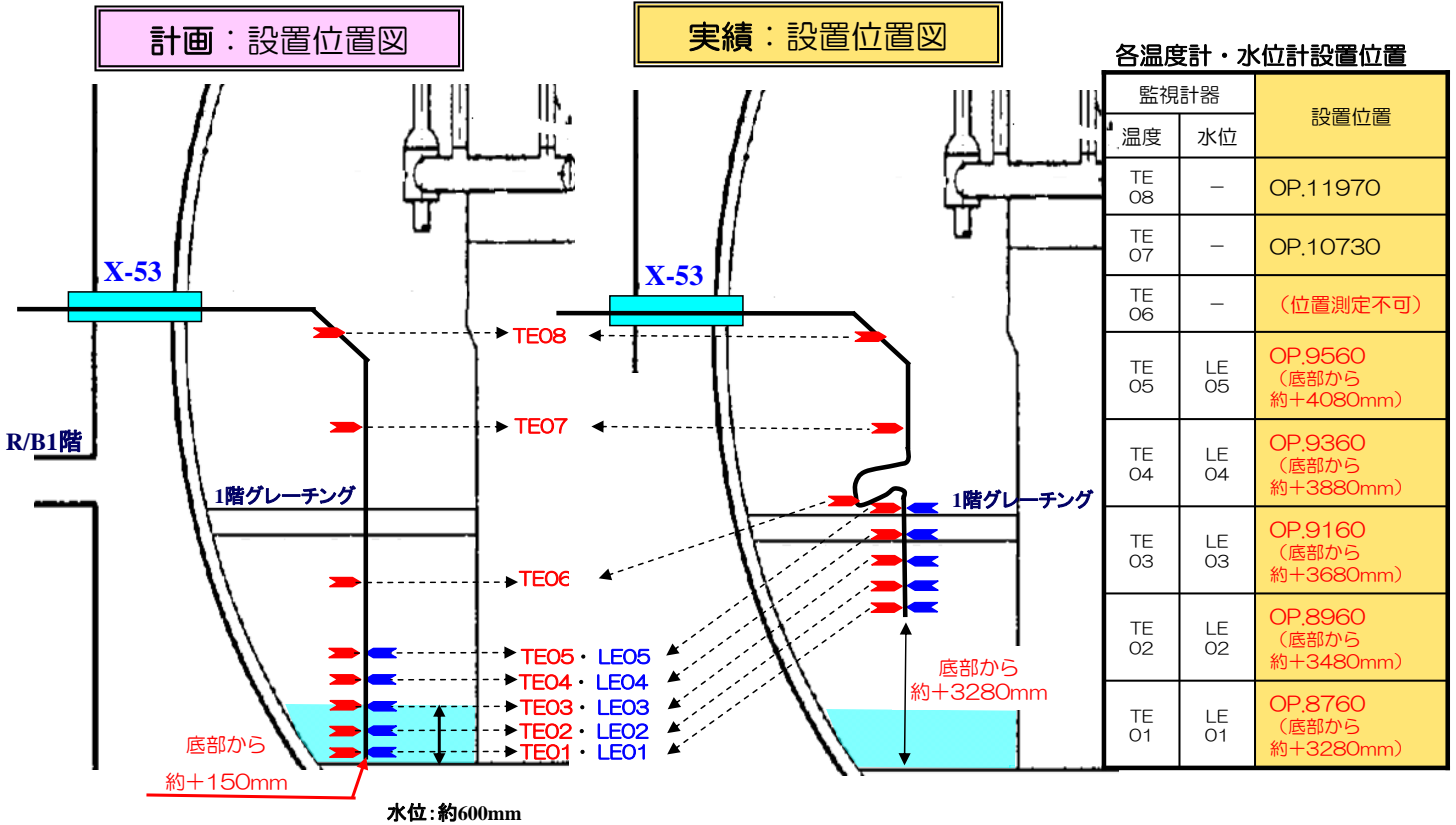
保護管

水位約600mm
(H24.3.26時点)

CCDカメラ

PCV底部

2. PCV内 常設監視計器の設置状況



3. PCV内 常設監視計器の設置結果

<結果>

- ・温度計 (TE07・08) は、計画通り設置できた。
- ・温度計 (TE01～06) は、計画位置に設置できなかった。
- ・測定した温度は近隣の既設温度計とほぼ同等の値であった。
→一部計画通りではないもの、温度計については十分使用可能と判断できる。
- ・水位計 (LE01～05) は、計画の位置に設置できず、全て水面の上に設置となった。

<今後の対応>

- ・監視計器が当初計画位置に設置できなかったことから、干渉原因の特定及び作業員の習熟訓練などを行った後、当初計画位置に再設置することを検討していく。

温度計 [8/21 19時現在のデータ] [°C]

新 設		既 設	
計器番号	温度	計器番号	温度
TE08	44.6	TE-16-114J HVH16D供給	43.9
TE07	44.5	TE-16-114D HVH16D戻り	43.5
TE06	44.6		
TE05	44.6		
TE04	44.6	-	-
TE03	44.7		
TE02	44.7		
TE01	44.8		

水位計

計器番号	動作状態
LE05	×
LE04	×
LE03	×
LE02	×
LE01	×

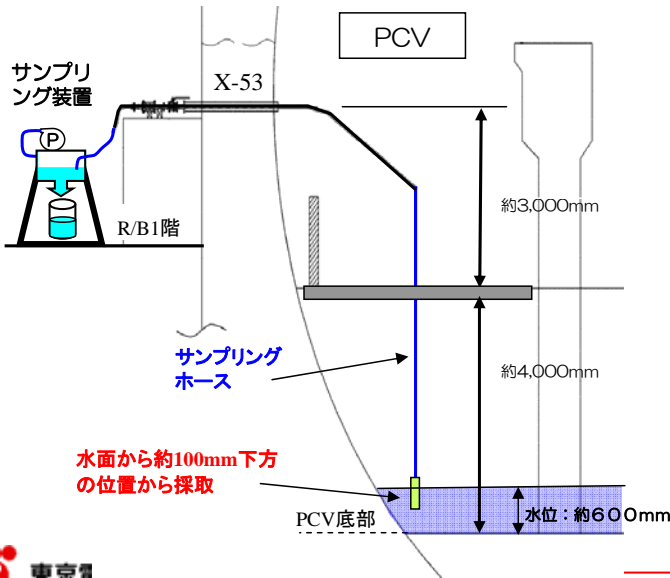
×：気中位置

○：水没位置

4-1. PCV内滞留水採取結果

- ・ PCV内滞留水の水面約100mm下から計画通り約800ccの滞留水を採取した。
- ・ 採取した滞留水は濁りもなく透明であり、サンプリング容器表面線量は、 $\gamma + \beta$ 線量 1.0mSv/h以下 γ 線量 0.5mSv/h
- ・ 滞留水の水位は、前回（H24.3.26：2回目調査）同様の約600mmであることを確認した。※水位は、カメラ着水した水面までのケーブル送り量から算出。

サンプリング装置（滞留水採取中）



4-2. PCV内滞留水採取結果

PCV内部 滞留水分析結果 (H25/8/7採取)

分析項目	分析結果	分析目的	評価
pH	7.4	格納容器バウンダリの腐食抑制のための腐食環境評価ならびに防食対策検討。	厳しい腐食環境ではなく、腐食性は低い。
導電率【 $\mu\text{S}/\text{cm}$ 】	25	※中長期的な取組みである循環注水ループの縮小化に向けた設備設計検討に使用する。	
塩素濃度【ppm】	2.9		
γ 放射能濃度【 Bq/cm^3 】	Cs134	2.14E+03	現在、評価中
	Cs137	4.38E+03	
	I-131	検出限界未満 (< 3.497E+02)	
トリチウム濃度【 Bq/cm^3 】	6.77E+02	※中長期的な取組みである循環注水ループの縮小化に向けた設備設計検討に使用する。	
Sr89/90濃度【 Bq/cm^3 】	9月末頃		
α 放射能濃度【 Bq/cm^3 】	検出限界未満 (< 2.033E+00)		